

IAUD Newsletter Vol.4 第18号(2012年3月号) 目次

1. 特集:「2011年度IAUD成果報告会&国際会議プレイヴェント」速報…………… 1
2. IAUD 4月の行事予定…………… 9

「2011年度IAUD成果報告会&国際会議プレイヴェント」開催速報



今年度の研究部会・委員会活動の締めくくりとして「2011年度IAUD成果報告会」と、今年10月の「第4回国際ユニバーサルデザイン会議2012 in 福岡」のプレイヴェントが、3月22日(木)にパナソニックセンター東京(東京都江東区、左写真)で同時開催されました。会員やメディア関係者など200人弱が参加し、大盛況のうちに終了しました。

今年度最後のNewsletterは、「2011年度IAUD成果報告会&国際会議プレイヴェント」の速報として、写真を中心にお伝えします。
詳細な開催報告は追ってHP及び4月発行のNewsletterに掲載いたします。

■2011年度IAUD成果報告会

13時から14時30分まで、IAUD会員限定で、今年度の研究部会と委員会活動の活動成果を報告する「2011年度IAUD成果報告会」が行われました。



【開会式】



まずは司会の西村澄夫副理事長/情報交流センター所長から、会場で展開されている情報保障の紹介がありました。

今回は、日本語手話通訳を東京聴覚障害者福祉事業協会東京手話通訳等派遣センター様に、音声を瞬時に入力し会場スクリーンに表示するパソコン文字通訳はユビキタス様にご協力いただきました。

つづいて、先日1月17日にお亡くなりになられた故山本卓眞会長へ1分間の黙祷が捧げられました。
スクリーンには、3月9日に帝国ホテルで執り行われた「お別れの会」の様子が映し出されました。



次に、小島文代理事長による開会の辞がありました。

小島理事長は「IAUDは会員が自発的に活動し発言できる場。この考えをもってIAUD成果報告会を開始したい。活発なご意見をお願いいたします」と述べました。

【情報交流センター/委員会からの活動報告】



情報交流センター：西村澄夫所長

Web 担当と編集担当の活動成果を報告。HP はレイアウトを改善して見やすくしたほか、Newsletter は発行回数を増やし、研究部会活動のレポートを随時掲載して情報管理を徹底しました。

ワークショップ委員会： 藤木武史副委員長

2011 年 9 月に開催された特別ワークショップ「48 時間デザインマラソン in かなざわ」の開催を報告しました。北陸朝日放送で放映された 6 分間の VTR を紹介。実際の生活者と問題を共有しながらデザイナーも一緒に考え課題を解決することの意義を述べました。



【研究部会から各 PJ/WG の活動報告】



研究部会概要説明：有吉司副部会長

8 つの PJ/WG で構成されている研究部会の 2011 年度の 4 つの活動方針の説明がありました。その後、各 PJ/WG の代表が報告をしました。



住空間 PJ: 小泉しをり主査

これまで調査研究してきた「UD プラス」の気づきを各 PJ と共有するために、合同で開催した「夢のみずうみ村」での視察ワークショップを紹介しました。

移動空間 PJ: 塩野太郎主査

調査手法のブラッシュアップのために実施した事例 1「駅～空港間の案内情報」、事例 2「公園ゲートのフィールドワーク」について報告しました。



労働環境 PJ: 松本日出夫氏

場所や時間にとらわれないユニヴァーサルな働き方であるテレワークのうち、「在宅勤務」を新たなテーマにして活動。実施したテレワークに関するアンケート結果を紹介しました。



余暇の UDPJ: 山田淳司主査

CM 字幕の問題を子供にも普及させるため、絵本風の啓発冊子を作成して聴覚特別支援学校へ配布。その取り組みが「第 5 回キッズデザイン賞」キッズ・コンシューマーサポート部門を受賞しました。また、「交流会の UD」をテーマに作成した 2 冊の冊子を紹介しました。

衣の UDPJ: 伊豆野隆信主査

UD ジャケットの開発の継続のほか、災害時の UD 衣料の研究を開始し、災害と UD をテーマにした講演会を開催しました。また作成中の衣の UD パンフレットも紹介しました。



食の UDPJ: 山下隆司氏

開発した「やけど注意ピクトグラム」が食品メーカーのパッケージや観光ホテルの調理器具、食品工場での製造ライン印刷媒体など諸分野で採用されました。また、東日本大震災が発生したことによる食生活の意識変化を調査しました。

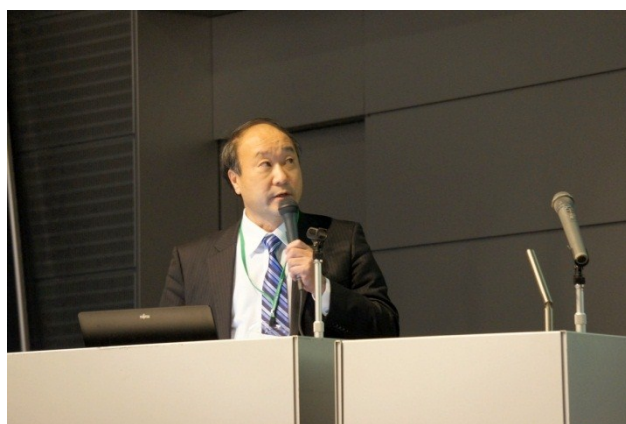


メディアの UDPJ: 田淵健一副主査 古澤暁子副主査

色の UD を広げる研究テーマ「カラーUD 配色イメージスケール」の検討に加え、今年度から取り組んでいる「カラーUD グラデーション」の開発について紹介しました。

標準化研究 WG: 志田知章主査

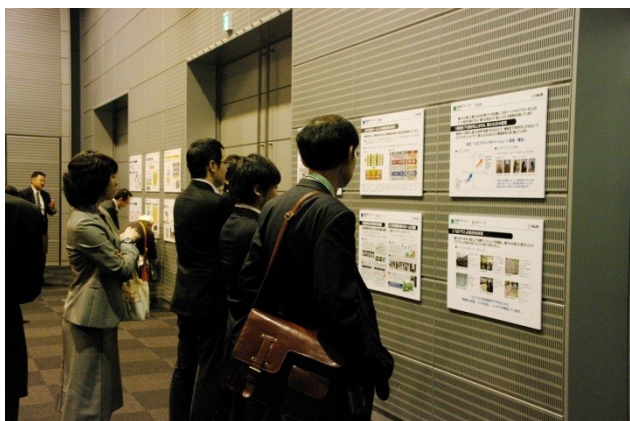
UD 普及のための標準化ツールのスパイラルアップとして、マトリックスの内容充実のために講演会を開催して情報収集をしたほか、マトリックスの使いやすさを改善しました。



西村副理事長による閉会の辞で成果報告会は終了しました。

【パネル展示】

会場には各 PJ/WG の活動紹介を示したパネルが展示され、休憩時間には参加者が熱心に鑑賞していました。



■「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012 in 福岡」プレイヴェント



14時40分からは今年10月12日(金)から開催される「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012 in 福岡」のプレイヴェントが一般公開で行われました。

今回は、震災復興の現場においてUDができることは何なのかをテーマに、基調講演と講演会を実施。参加者は熱心に聞き入っており、講演後には活発な質疑応答も行われました。

【開会式】

西村澄夫副実行委員長より、開会の辞がありました。

西村副実行委員長は「国際会議では、安全・安心というUDの底流にある基本的概念をもう一度捉え直したい。それに先駆け、今回のプレイヴェントでは実際に被災地で活動された皆さんのお話を伺います」と述べました。



【基調講演】



増田寛也(野村総合研究所顧問／東京大学公共政策大学院客員教授／元総務大臣／前岩手県知事)

被災地復興での5つの課題を提言。さらに、今後は世界との関係で復興を考えなければならないこと、また想像力の駆使によって問題に当たっていかなければならないと述べられました。

【国際会議の概要紹介】



「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2012 in 福岡」について、会場やプログラムなど現時点で決定している概要を小島実行委員長が紹介。「多くの国際的組織、九州地方の大学、官公庁、大使館、各学会、財団などから協力や後援をいただいています。大きな期待を受けて、私たちも自らががんばってこの会議を成功させたい」と述べました。

【講演会】

被災地で活動されている2名に、国際会議のテーマである「安全・安心～UDの基本を考える～」について、それぞれのお立場でお話いただきました。

竹本竜司(防衛省統合幕僚監部運用第2課長)

自衛隊の東日本大震災の活動をまとめたビデオを放映。さらに、自衛隊の災害派遣活動における東日本大震災の教訓についてお話いただきました。



伊東豊雄氏(伊東豊雄建築設計事務所代表)

仮設住宅に「みんなの家」という小さな木造住宅を造る運動と、岩手県釜石市での復興計画に関わったご経験について、具体的なご紹介がありました。

【閉会の辞】



川原啓嗣副実行委員長から「今回をきっかけに、ぜひ今までの考えを詳しくし、新たな考えを含めて、皆様が様々な立場でUDを広めていくきっかけにしていいただければ」と閉会の辞があり、プレイヴェントは終了しました。

※詳細な開催報告は HP 及び 4 月発行の Newsletter に掲載いたします。

IAUD 2012 年 4 月の予定

- | | | |
|----------|--------|---------------------------------|
| 5 日 (木) | 14 時～ | 労働環境の PJ 定例会 (富士通蒲田ソリューションスクエア) |
| | 14 時半～ | メディアの UDPJ 定例会 (IAUD サロン) |
| 10 日 (火) | 12 時～ | ワークショップ委員会会合 (IAUD サロン) |
| 12 日 (木) | 14 時～ | 余暇の UDPJ 定例会 (IAUD サロン) |
| 13 日 (金) | 13 時半～ | 標準化研究 WG 定例会 (日産自動車本社) |
| 24 日 (火) | 15 時～ | 実行委員会会合 (IAUD サロン) |

次号は 4 月中旬発行予定

特集:2012 年度の活動方針／小島理事長へのインタビュー (予定)

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net